

令和6年度 授業改善推進プラン（教科 音楽科）

作成者 奥山 友梨

令和5年度の授業改善推進プランの成果と課題

1 年	2 年	3 年
成果 個々の技量が伸び、曲に合った表現の工夫を考えることができるようになった。 課題 個々の技量を更に伸ばし、主体的に表現の方法を考える活動を増やす。	成果 個々の技量が伸び、主体的に表現を考えることができるようになった。 課題 考えたことを表現できるように、更に個々の技量を伸ばす。	成果 考えた表現を他の題材でも応用して取り入れることができるようになった。 課題 表現の幅を広げるために、個々の技量を更に伸ばす。

学年毎の課題分析	学 年	生徒の実態	学力調査、授業アンケート等を受けての具体的な授業改善策	
			第1回	第2回
	1 年	さまざまな活動に意欲的に取り組む。発信力はあるが、話が広がりすぎてしまうのは課題である。また一人一人の技能を伸ばし基礎・基本の定着を図ることが課題である。	・歌唱、器楽、創作を通して表現方法を主体的に考えていけるように、個々の基礎的な技術を伸ばしていく。 ・鑑賞では、感じたことを自分の言葉で表現できるように、発問、ワークシートの工夫をすることと、考える時間や仲間の考えを共有する時間を多く設定する。	
	2 年	さまざまな活動に意欲的に取り組む。教え合いがよくできる。一人一人の技能をさらに伸ばし基礎・基本の定着を図ること、主体的に表現方法を考えることが課題である。	・歌唱や器楽、創作の活動において個々で活動する時間とグループでの活動の時間をバランスよく取り入れ、主体的に表現方法を考えられるように工夫する。 ・鑑賞では、感じたことを楽曲とつなげて考えられるように、発問の工夫をすることと、考える時間や仲間の考えを共有する時間を多く設定する。	
	3 年	器楽の活動に意欲的に取り組む。歌唱の取り組みは自信がない。個々の技術を伸ばしつつ、主体的に表現方法を考え、それを実践できるようにすることが課題である。	・歌唱や器楽、創作の活動において考えた表現を共有できるよう、意見交換する時間を多く取り入れる。 ・歌唱では声の出し方などの技術を伸ばし、表現を工夫しながら歌うことができるようにする。 ・鑑賞では、感じたことを楽曲とつなげて考えられるように、発問の工夫をすることと、考える時間や仲間の考えを共有する時間を多く設定する。	

令和6年度の授業改善推進プランの成果と課題

1 年	2 年	3 年